

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年11月24日 (2016.11.24)

【公開番号】特開2015-104541 (P2015-104541A)

【公開日】平成27年6月8日 (2015.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-037

【出願番号】特願2013-248230 (P2013-248230)

【国際特許分類】

A 6 1 H 23/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 23/02

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月11日 (2016.10.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

なお、本例では、第 1 部材 1 1 の上面にリング状の導電パターン 1 4 が設けられ、第 2 部材 1 6 の下面に 3 つの独立した導電パターン 1 9 A、1 9 B、1 9 C がそれぞれ設けられているが、この配置を逆にして、第 1 部材 1 1 の上面に 3 つの独立した導電パターンがそれぞれ設けられ、第 2 部材 1 6 の下面にリング状の導電パターンが設けられる構成としてもよい。この場合、振動発生部材 2 0 と電源 2 3 は第 2 部材 1 6に配される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 5】

なお、本例では、第 2 部材 1 6 の下面外周に、C 字状の導電性を有する抵抗パターン 2 8 が形成され、第 1 部材 1 1 の上面外周に、抵抗パターン 2 8 と対面する C 字状の導電パターン 2 9 が形成されているが、この配置を逆にして、第 1 部材 1 1 の上面外周に、C 字状の導電性を有する抵抗パターンが形成され、第 2 部材 1 6 の下面外周に、その抵抗パターンと対面する C 字状の導電パターンが形成される構成としてもよい。この場合、振動発生部材 2 0 と電源 2 3 は第 1 部材 1 1に配される。